

外注先の八里屋、子会社化

グループ売上高100億円体制へ

豆腐製造販売のおとうふ工房いしかわ(本社高浜市豊田町、石川伸社長、電話0566・54・0330)は、同業の八里屋(本社三重県菟野町)を子会社化した。発行済み株式数の過半数を取得。今後は八里屋の工場を改修し、増産体制を整える。シナジー効果を発揮し、グループ売上高100億円体制を目指す。

(高浜・片桐芳樹)



八里屋で生産している豆腐製品



石川 伸社長

八里屋は1989年に創業。13年前から、おとうふ工房いしかわの外注先として、揚げ出し豆腐などの加工品類を中心に製造してきた。2018年3月期の売上高は約6億8千万円の

見込み。

今後、工場の天井や床、壁を改修。間取り変更などで、食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」に対応できるように整備を進め、生産能力を2倍程度まで拡大する。投資額は2億円。菟野町は交通アクセスに優れて

いることから、関西方面の営業強化の足掛かりにしたいと考えた。

おとうふ工房いしかわは、増産体制を構築するとともに、衛生・品質レベルの向上に注力している。2016年に本社第4工場が完成。同工場は、3月にISO22000の認証を取

得した。18年4月期の売上高は、約52億円の見込み。